

## Title: 「ME YA THE WORLD」



宮澤 笑美  
1984年8月27日生まれ☆沢山で沢山食べます！A型だけど片付けとかは上手できないです。ハウスタアレルギーだけど埃とかよく見えないです。

## ● 最近のエントリー

- ☞ [Make The Heaven](#)  
(2006.04.23)
- ☞ [ぶのんぺん最終日](#)  
(2006.04.20)
- ☞ [ぶのんぺん!](#)  
(2006.04.18)
- ☞ [ダナンを飛ばしてホーチミン!そしてベトナム最終日!](#)  
(2006.04.14)

## ● アーカイブ

- ☞ [April 2009](#)
- ☞ [November 2008](#)
- ☞ [May 2007](#)
- ☞ [March 2007](#)
- ☞ [December 2006](#)
- ☞ [November 2006](#)
- ☞ [September 2006](#)
- ☞ [August 2006](#)
- ☞ [July 2006](#)
- ☞ [June 2006](#)
- ☞ [May 2006](#)
- ☞ [April 2006](#)
- ☞ [March 2006](#)

## ● 投稿カレンダー

## ● カテゴリー一覧

## ● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



ME YA THE WORLD &gt; April 2006 アーカイブ

06.04.23

## Make The Heaven

[Tweet](#)[Check](#)

カンボジアでお世話になっている絵美さんのブログ

<http://blog.drecom.jp/makecambo/>

私たちのことも載せてもらっちゃった★

私たちが訪ねたバサックスラムの子達や、孤児院の子達の様子や、どうしたらカンボジアの

子どもたちと近くなれるかの方法がたくさん書いてあります★

カンボジアを訪ねる際は是非絵美さんにご相談を!

そして絵美さんが所属しているNGO団体

「Make The Heaven」のHPは

<http://www.maketheheaven.com/>

是非たずねてみてください。

そして、今日は、明日訪ねるバコン村の日本語学校の先生と★

クメールランチをいただきました★

一緒に田栗君と明日香さんも!!

先生のお名前はみゆきさん!

絵美さんのお友達だそうです。

納得!!

すごくおもしろい!(笑)

初対面なのに、、、3人で6品くらい頼んで「たらふくたらふく。」

って感じでした。

フィールドワークコースに興味を持ってくださって、

なんと、カンボジア班の写真展まで一緒に来てくれることに!

定員オーバーのワゴンにクラスメートと混じり、孤児院で行われた写真展を見て参りました。

写真展の詳しいお話や写真はきっと、カンボジア班の皆さんのブログでいっぱい見れると思いま

す!

とても、素敵なお話で写真展をしていました。

私たちは少しの時間しか居れなかったけれど、また子どもたちと遊んだり、踊りを見せてもらっ

たり、

写真は、みんなとても良い笑顔で写ってました。

その写真を見ただけで、カンボジア班の人たちと子どもたちの距離が知れたようでした。

孤児院の子達と触れ合うと、うちのクラスみんな、少年少女に戻ってしまっているかのようでした◎

みゆきさんは本当に不思議な方で、

私たちに言われたいくはないでしょうが、(笑)

明日がとても楽しみです。

写真のアップが私の使っているネットカフェのパソコンではできなさそうです。

なんせ、USBが無い事感。むむむ。

ではでは、カンボジアも残り少ないです。

うんうん。いっぱい。動こう。

カテゴリ:

post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.04.23 | [パーマリンク](#) | [コメント \(5\)](#)

ME YA THE WORLD &gt; April 2006 アーカイブ

06.04.20

## ぶのんぺん最終日

[Tweet](#)[Check](#)



今はシェムリアップに居ります。  
ブノンベン最終日には「ゴミ山」に案内してもらいました。  
「ゴミ山」という言葉だけで何か伝わるでしょうか。  
どれくらいの人がその、単語で、何か、を想像できるのだろう。  
トゥクトゥクを降りて、くだっていくと、匂いが漂う。  
誰でも嗅いだことのある匂い。  
勿論。ゴミの匂い。  
熱風に巻かれ赤土の砂埃が舞い散って、  
ゴミからは煙が出ていた。  
自然発火だという。

絵美子さんのアドバイスで、午前中に訪れたけれど、  
もし、これが午後ならば・・・体温温度は計り知れない。。

家々が見えてきた。

未知の世界だ。  
ちらほらと人々が見えてくる。  
袋とヤリのようなものを持って下におりていく。  
ゴミの山は続く。蠅の数も増えていく。

最終地点に着いた。  
絵美子さんはお正月明けで人は少ないと言うけれど、私には充分だと思った。  
みんなはもう、写真を撮られることになれてるという。  
だからと言って、すぐに写真が撮れるとは思えなかった。  
ただ、撮っても、撮られる方も撮る方も側に落ちないと思う。  
写真は写ったものから発見がある。と言ってもこれはまた、別問題だろう。  
だけど、此処に居られるのは、此処で写真が撮れるのは一回きりなんだ。  
とにかく、気持ちも、足も向かって行かなくてはいけないのだろう。  
男の人、女の人、子供、同じ比率ぐらい居ただろう。  
子供は元気に駆け回る。だけど、ただ、元気に走り回っているのではなく、仕事をしている。  
大人はひたすら、ゴミの中から生活の足しになる、売れるビニール袋などを探している。  
パッと目をやると、女の子3人組が座っていた。

私は近づいてみる。笑っているのかな。  
わからない。  
どういう意味でそういう顔をしているのか、わかりきれなかった。  
私は、撮らせてとジェスチャーをする。  
1人は何も動じない。だけど、下向きになってしまった。  
1人は恥ずかしいのか、笑ってる。そしてもうひとり帽子で顔を隠した。  
だけど、  
バリアは張られていないと感じた。  
何か撮って、彼女たちに見せる。  
やっぱり、何か、かみ合わない。  
そりゃそうだろう。  
どれだけ、違うのだろう。私とその子達は。  
何もかも違う世界。

簡単に立ち入って、勝手に写真を撮って・・・  
なんてまた、ネガティブに考えると止まらない。  
こうしなきゃ、始まらない。  
距離を縮めることもできない。  
縮めてどうするのか。写真を撮ってどうするのか。  
今、ここで写真を発表する。  
そして、私の周りの人がこの子たちのことを知っていく。  
それに価値はないだろうか。私とその子達に近づく価値は、無いのだろうか。  
正当化。のように聞こえる。  
ほら、底なし沼のように終わらない話。

帰ってきて、撮った写真を見てみれば  
驚くほど撮っていなかった・・・。  
思うことと行動のギャップが激しい。

サンさんと子供が座って、兄弟みたいに話していた。  
「何を話していたの？」  
絵美さんが聞いた。  
サンさんの足元には一般的な胎の袋が落ちていた。  
「この胎おいしい？」って聞かれたから、「おいしいよ。」って答えたの。  
なんとも言えない気持ちだ。  
だからといって私たちがその胎を食べなければ解決する問題じゃない。  
子供の小さな質問の中に大きな問題がある。  
私の頭で、体でどこまで追いつけているのだろうか。

ゴミ山を跡にして、前日訪ねたスラムへもう一度おじゃました。  
相変わらずの元気さだった。  
トクダケイタは、きっと3倍は汗をかいただろう（前日比）  
ナント！子供達が踊りを踊ってくれるということに！  
3種類、踊ってくれた！！  
あいやああ！！なんと、なんと！かわいらしいことなのでしょう！  
かわいらしいどころじゃなく、みんな、凄いなあ！  
才能の持ち主だぜ！  
木琴と、太鼓の生演奏。男の子と女の子でペアで踊る。  
えええ！！  
アナタも踊っちゃうの？！あの、[私がおんぶしてた（気づけばいつも背中によじ登ってた）](#)。  
アナタも踊っちゃうのん？！

あいや！  
女優ね！あなた！女優ね！！（笑）  
もう、笑うしかなかった。。踊りは上手いは、かわいいわで、しかも、真顔。  
「遊んで遊んで！！」って言ってた顔ほどこへやら。。  
びっくりな一面でした。  
帰る時間になってしまった。  
この子達と出会えて良かった。そればかりだ。  
最後にみんなで記念撮影。  
あちゃあ！！！！サンさんとえみこさんが撮っちゃったよ！！！！  
あわわ。一緒に撮りたかったなああ。  
でも、笑顔☆

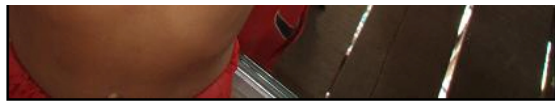
あんなにあの子達が人懐こくて、スラムのみんなが歓迎してくれるのは  
最初からではないだろう。  
私たちがいきなり行って、あんなにも、警戒心もなく、よってきたり、  
親切にしてくれるのは、「信用」があるからだろう。  
それを作ったのが、NGO団体の人たちで、その人たちが日本人で、  
そして、私たちが日本人だったから、こんな出会いが出来たのだろう。  
目にはっきり見えるものではなかったけれど、  
ここで「カンボジア」「日本」の間を見たと思う。  
夕方には孤児院に！じゅんくとけいちゃんと、絵美さん、サンさん、そして絵美さんのお  
友達

と向かった。  
孤児院は、前日に食事をしたイタリアンレストランの近くにあった。  
暗い路地を抜けて、ビル階の階段をのぼったところにあった。  
私のイメージしていた孤児院とは少し違っていた。  
カラフルで、バルコニーがあるその孤児院。  
「コンニチワ」「コンニチワ」  
みんな日本語で挨拶が出来る！！  
スラムの子達よりは少し大きめの子供達。あちゃあ！！また同じニオイがするぜ！（笑）  
私たちは感じた・・・。午前の延長戦だぜ！  
また、くすぐるわ、回すのはオオハヤギ！  
わっしょいわっしょい！みんな、やっぱり、人懐こくて、写真が好き。  
絵美さんはビデオを撮っていた。やっぱり絵美さんの周りにはみんな寄ってくる。  
「エミコー！エミコー！」聞きなれた呼び声。  
私までうれしくなる。  
この孤児院の子達が、今年の夏、日本を訪ねるらしい。  
踊りを踊りに行くそうだ。  
・・・くつ。

すれ違い！！  
2日間、絵美さんに案内してもらった。  
絵美さんに出会えて良かった。  
みんなに出会えて良かった。  
絵美さんに案内してもらって本当に良かった。  
絵美さんは「とにかく、カンボジアを色々な人知って欲しい」  
って言ってた。  
私は、見た。知った。本当に、少しだけけれど。  
だけど、良かった。それでも、知れてよかった。  
単純な言葉しか出てこないけれどそればかりだ。  
しつこいけれど、この後が大事なトコロだ。  
ソレを私はドウするのか。  
知った物、見た物が増えて、どんどん増えて、  
考えがどんどん変わって、少しずつ少しずつ、  
何かを残して、積み重ねていく。  
今は、シエムリアップ。ここでは、絵美さんの紹介の日本語学校を訪ねる予定。

絵美さん、サンさん、本当に、本当に、ありがとうございます！！！！  
2日間、本当に、大事な大事な体験をすることが出来ました。  
是非、必ず、また、会いましょう！！会ってください！





[えみこさんと孤児院の子供達☆](#)

post by 宮澤 美美 | 日時: 2006.04.20 | [パーマリンク](#) | [コメント \(9\)](#)

カテゴリ:

ME YA THE WORLD > April 2006 アーカイブ

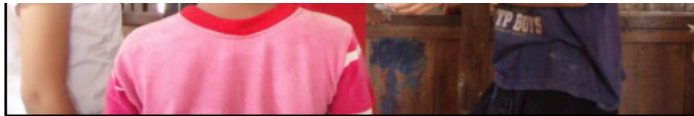
06.04.18

ぶのんペン!

[Tweet](#)

[Check](#)







ただいまカンボジア・プノンペンでございます。  
私の体調は、ベトナムを出た瞬間驚くほど良くなりました。  
本当に驚愕です。友人説でも有力です。私とベトナムは対極だったのわ。  
一昨日の夕方、[カンボジアに入学](#)したのですが、昨日はホテル目の前の日本料理屋で  
2回食事。「鏡河」という日本料理屋さんなのですが、  
マスターがとても良い人で、写真もどどん撮ってくれ！と言った感じでした。  
しかし、カンボジアは今、お正月にあたり、お客さんも、人手も少ないということなので  
明日の夜、もう一度訪ねてみたいと思っております。  
そして、今日は、またまた、国内プランニングの時に日本語学校について調べてた際に、メール  
をやりとりして下さったたりして下さったNGO団体の方にガイドをしてもらい、スラムに行  
ってまいりました。  
その方の名前は絵美子さん。  
絵美子さんのメールはいつも明るくて、丁寧で、親近感がとても湧くのでした。  
昨日の夕方に一度お会いして、今日朝9時より  
私、ゆまちゃん、よっこ、けいちゃん（徳田君）、じゅんくん（田栗君）、荒金さんと  
エミコさんのお友達、アイさん、そして、現地ガイドのサンさんと一緒に出発！  
[初トゥクトゥク！](#)  
やばい。楽しいぞ。  
入国した瞬間からカンボジアは好きかもしれない。  
と思った私。間違い無い。

周りの風景、居心地感、風の吹き方、気候、町並み、3カ国目で一番落ち着くかもしれません。  
早くもスラムに到着。  
本当にテレビや、雑誌、写真で見た景色。  
そこに居る。という実感は薄い。  
エミコさんの後から突き進む。

私たちを見るなり、笑顔で挨拶をする人々。  
エミコさんに抱きついてくる子供たち。  
ひとつ一つの歌や、そこに住む人々。  
初めて見る風景なのか、見たことあるのか、

そこに居る人たちが、私たちが通ることを当たり前に見ずぎていて、エミコさんが道をスイスイと突き進み、それをただ付いていく私も錯覚を起こす。

これが当たり前なのだ。

そんなはずはない。  
それだけはわかるけれど、考えもまらずに目的の場所につく。  
その頃には、私たちの周りには人懐こい子供達でいっぱいだった。  
目的地は、お祈りをしている人たちのお家。  
私たちはとにかく、抱きついてくる子供達に抱きつき返すことに精いっぱいだった。  
フエでも感じたことだけど、どうして、こんなにも初めて見る人たちに  
ひっついてこれるのか。日本の子供には無いコト。  
それが何かのキーワードかもしれない。今はまだ、言い切れない何かがあるように思う。  
少しの儀式をした後、奥の部屋に案内された。そこにはお坊さんが座っていた。  
サンさんが「大丈夫です。今は遊ぶ時間です。」と教えてくれた。  
その通り。

子供たちのボルテージはMAXだった！  
あれは何分、何時間続いたのだろうか・・・。  
あんなに何もかもはっちゃけて汗をかいたのは久しぶりだった。  
あんなに言葉もなく笑い合えたのは久しぶりだった。  
中学・高校時代の保育実習を思い出す。  
だけど、何かが違う。  
何もかも、忘れて、私も同じ年になったかのように、ただ、遊べたから。  
容赦ない子供達に、「疲れたよぉ〜。」と日本語で言ってみたとこで通じない。  
通じてもきっと容赦ないんだろう。  
それがまた、いろんなことをふっきれさず。  
みんな、服が茶色になった。  
だけど、わりかし、けいちゃんはお坊さんの見習いと思われたのか、子供達に距離をおかれてた。(笑)

アイさんも凄く楽しそうだった。エミコさんを見る。  
！！落ち着いてる！！エミコさんのひざに女の子が座って空気が違うぞ！（笑  
流石。(何

お坊さんがご飯を食べ終わると、次は私たちの番だった。  
通り抜ける道はみんなお正月気分、おばちゃんたちが陽気に歌を歌って踊ってた。  
なんて楽しそうなんだ・・・！！

ご飯をご馳走になり、もう、帰る時間になってしまった。

お礼を言ってその場をあとにした。  
嵐のような午前中。楽しかったという思いだけが強い。  
私は何を撮れたのだろうか。  
勿論、お互いがとても楽しい時間を過ごせた。という事が一番大事だと思う。  
だけど、それだけでいいのか。  
そんなことは自分の問題なのだけど、  
考えてみる。

まだ、何一つ答えはない。  
笑顔にしか出会わなかった私は、ただ、ただ、胸がいっぱいになって帰るだけだった。  
エミコさんたちとはまた、夜にイタリアンレストランで行われる、子供達のダンスを見に行く  
ことになっていた。一旦、お別れをして私たちは次に

こんちゃん、ゆうちゃん、五十嵐先生と  
「キリング・フィールド」という場所に向かった。  
今日、初めて知った場所だ。ガイドブックを読む限りでは凄まじい場所のようだ。  
詳しくは書かないけれど、私が思い描く以上の現場の跡地なのだろう。  
また、トゥクトゥクを利用して、到着。  
限りつける日差し。ざわめく木々。  
その観光者ほとんどは欧米人のようだった。  
人の精霊が集まる場所はより美しく、妖艶に見えると聞く。  
それに納得をする。  
異様なまでに静かな場所。生い茂る緑や、のどか過ぎる風景。  
過去に起きた残酷なものは何も感じさせない。  
私だけそう感じるのかもしれない。  
何も知らないからだ。  
ただ、異様な魅力を持つ木々の影を、歩きながら色んなことを思ってみる。  
だけど、どんなに思おうとも、どれくらいのことか私に思いつけるのか。  
何がわかるのか。  
痛さも、恐ろしさも、計り知れない。  
わかるうとしていないのか。わかるうとすることに意味を捨てるのか。  
難しく考えるだけで、よくわからなくなる。  
その出入り口で、お金を乞う片足の無いお父さんとその息子達が立っていた。  
トゥクトゥクに乗ってる私に帽子を突き出し、じっと見つめる。  
この光景は初めてではない、台湾でも、ベトナムでもあったことだ。  
私は揺れ動いてた。  
お金をあげることに、ノーと言って突き進むこと。

私はひたすら、ノーと言って来た。  
アメリカの留学先ではクリスチャンスクールに通っていた。  
私が留学先で困らなかったのも、一年過ごせたのも全て、クリスチャンのおかげだった。  
彼らに学んだのは、惜しみなく分け合うこと。  
自分の分が無くても相手に与えること。  
無償の愛。というのだろう。  
全てとは言わなくても、その精神は、留学で得たものの一つとして忘れずにいたかった。

だけど、おかしな話になってきた。ならば、どうして、この事態を免れない。  
私は今、自分のお金で生きているわけではない、この場所に居るわけではない。  
例え一人の人に与えても、その後、全員にあげることも、到底できない。  
ならば、今はノーと言おう。  
わけのわからない思考、うめばれていて、うわべだけの判断。  
もっと簡単なことだと思った。  
私の一番大切なものはお金でも、お金で買えるものでもない。  
あの人が欲しがっているのは私の大事なものが買えるほどのお金ではない。  
私がどうしようもない使い方をしてしまうお金をあの人が必要とするならば  
何故、あげようとしないのか。「私のお金じゃないから」だなんて、  
不必要なものを買いつつ言っているなんて笑える。

私はそのお金でその人の幸せを心置きなく祈れる。  
その人はそのお金で私に笑いかけ、少！でも幸せになる。



そんな簡単なことではないのだろうか？  
違うのかもしれないけれど、誰がそれを言えるのか。  
答えなんて無い。  
と思ってる。  
だから私は、その場その場で感じるままに対応していこうと思ってる。  
それは、普通の人間関係と同じ要領だと思う。

1ドルをあげると笑顔でお礼を言われる。  
この先に会うことは二度とないとしても笑顔で別れられるのが一番いいと思った。

そして夜は、イタリアンレストラン。  
残念ながら子供達は体調を崩してしまい、踊りは見れなかった（涙）  
だけど、とても楽しい宴だった。  
ピザもサラダもおいしかった。  
一つの伝説も生まれた。  
エミコさん、アイさんとの距離とも一気に縮まったと勝手に思う。  
明日は、ごみ山に案内してもらい、スラムにもう一度お邪魔する。  
私は明日、何を見るのか。  
こうやって国を重ねていき、今、カンボジアであるものを見ていると  
「世界を知る」というのはこういうことなのかな。と感じてくる。  
そこに居る、見る。  
そして考える。  
どこまで出来ていることやら。。  
先は長い。  
もう少し、見て、思ってみる。  
おっと、私達にはその次がある。  
そして、  
表すこと。

先は長い・・・。それにつきる。  
[パイタク三人乗り☆サンさん。えみこさん。あいさん](#)  
[今日は一日動き回って疲れた。の図](#)

カテゴリ：

post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.04.18 | [パーマリンク](#) | [コメント\(9\)](#)

ME YA THE WORLD > April 2006 アーカイブ

06.04.14

## ダナンを飛ばしてホーチミン！そしてベトナム最終日！

[Tweet](#)

[Check](#)

とうとう、ベトナムも最終日ですよ！！  
ベトナムに私は何を見たのでしょうか・・・。  
多分、「弱い自分」でしょう・・・。

こんなに弱かったのか。自分。  
知っていたけれど、尚、思い知ったイン ベトナム。  
料理はまず、食べれずして、お腹もいた子、暑さもだめ子で、汗でかぶり子。  
一回の外出で相当の体力を消耗してしまう。  
フエ以降はお腹と体調を壊し、大体引きこもり・・・。  
イカン。  
撮影不十分でベトナムに戻ってきたくはない・・・。  
ホーチミンは都会です。  
今日は、郵便局に行ったのでした。  
なかなか、アトラクションでした。  
対応してくれたおばちゃんが凄くおもしろかったです。  
凄く、色んなことがめんどくさそうに、だけど、私は2往復しちゃいました。  
「ヤレヤレ」って顔を何度もされました。  
だけどなんだか嫌いにはなれないキャラでした。  
だけど、1時間強を費やしました。  
日も暮れて、OH谷とスーパーに行ったものの、徒にバックバックを重くするものしか手に入れ  
ませんでした。  
日本に郵便はいつ届くのでしょうか。。  
あんなにくるぐるテープを巻いてくれるんなら、あんなに手間がかかるのなら  
もっと色んなものを入れたかったなあと考えたのでした。  
明日はカンボジアに向かいます。  
私はいつ、完治するのでしょうか・・・。  
ブログも完全復活したいところです。  
ではでは。。また！！

カテゴリ：

post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.04.14 | [パーマリンク](#) | [コメント\(4\)](#)

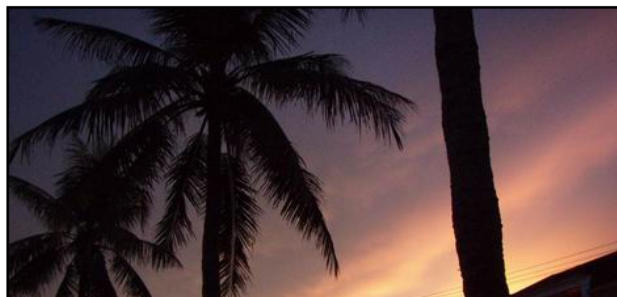
ME YA THE WORLD > April 2006 アーカイブ

06.04.12

## フエぱーと2

[Tweet](#)

[Check](#)





翌日、私はとーさんに誘われて、パーティに行ってきた！！  
ホテルに夕方6時に待ち合わせ。  
それまで私は、体調を崩したため、部屋で安静に。。  
ロビーに行けばとー八ちゃんとお友達。  
私はとー八ちゃんのオートバイの後に乗りレッツラゴー！  
初めてバイクの後ろに乗ったかもしれない！  
しかも、ベトナムで初ですかー！ 案外怖くないものですね！  
「楽しいですねー！」  
「楽しいですー！」  
カタコトの日本語でキャッキョッと目的地まで進んでく。  
雨降ってるけど、みんなカッパ着てないぜ。  
「子供の家」というところについた。  
昨日行った場所とは違う「子供の家」だ。  
とー八ちゃんが言うには、ボランティアの人が集まるパーティだと言うのです。  
フエ・ベトナムの若者が集まる集まる。  
一人だけ居る日本人に気にもせず、みんな他愛無い話をしている（多分）  
とー八ちゃんが色んな人を紹介してくれた。  
だけど、、、名前覚えられないよ・・・（涙

何人かにベトナム語を覚えてもらったけれど、まっっっっつたかわからないし、いえないよ！  
私は、言語に興味があるけれど、取得は遅く遅いのですよ。  
特に、聞いた言葉を使う能力はない・・・  
パーティが始まりそうだ！！  
雰囲気からすると私にはボーイスカウトの集まりに見えた。  
ご馳走を前にみんなで軽いゲームをしてエキサイト！

#### とー八さんと私

なんだか、わからないけれど、みんなが楽しそうだから私も楽しかった。  
言語取得の能力は低いけれど、雰囲気場で場を眺める能力は増われている！！  
わけもわからないけど笑って喉がかわいたと思っても  
ビールしかない！  
しどい！  
とー八ちゃんも飲めない子でよかった良かった。  
みんな、お酒が入ったあとは踊り狂ったり、何回も乾杯もしたりととてもえささいでんぐだつた。  
私はというと、8時半より、「五十嵐先生誕生日を祝う会が予定されていたので帰ることに。  
とー八ちゃんがまたオートバイに乗せて送ってくれた。  
「ちょっとしか時間、無かったー。残念デスネー。」  
と言いつつ。  
それならば、と。誕生会にご招待した。  
その後は、、、藤野氏の日記にきつとかかかっていることだろう。  
とっても楽しい会になったのでした。  
あれれ、、写真が少ないぞ。  
ではでは！ また！

カテゴリ：

post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.04.12 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#)

ME YA THE WORLD > April 2006 アーカイブ

## フエのお話パートわん！

[Tweet](#)

[Check](#)



宮澤復活でございます。  
間の中をさまよっております。ベトナムノックアウト・ミヤザワ。  
はい。コシ、本当に。  
そうですね、ハノイからフエに移動したわけなのですがけれども、  
フエでは、いろんなことがありました。  
取材もいたしました。  
お腹も壊しました。

フエの「子供の家」を支える会をたずねました。  
ここは、私が日本でプランニングしている時、たまたま、「フエ」「日本語学校」

で検索して出てきたところでした。  
書類みたいな拡張子だけのページに書いてあったメールアドレスにフィールドワークの企画と私の取材内容を書き、送ってみたところ、返事が！！  
受け入れ可能という嬉しいお返事で返ってきたのです。  
それから何度かメールをやりとりし、  
とうとうフエ入りだったのですが、フエ到着は朝の5時！  
(この寝台列車の話も20時間ぐらに乗っていたものですから話題がたくさんあるのですがこれはまたいつか  
という感じに。)  
とにかく、会ってお話しようと到着日の朝8時半に乗り込んでいったのです。  
しかし、その日は会議があって、試験もあるという非常にお邪魔でならない日だったためにお話だけして帰ったのです。  
しかし、その短時間でも、「子供の家」を支える会の方たちの暖かさが伝わってきたのです。  
こんな突然わけわからずやってきたよくわからない人がアンケートをしたいだの写真を撮りたいだの  
言ってくるのに、市場に行けば良い写真が撮れるのではと、時間を合わせてくれたり、  
アンケートをもっと簡単にして、日本語学生の試験問題には出来ないかと他の先生に聞きにいく  
てくれたりしてくださいました。  
アンケートは、やはり、難しすぎたので、試験には採用されなかったのですが(笑)  
翌日の午前中は「子供の家」をたずねることにしました。  
「子供の家」とは、フエのストリートチルドレンを家庭の事情により引き取り、共同生活をしながら教育、職業訓練をして、独立立ちを支えるところです。  
日本の施設以外にも、アメリカやフランスの施設もありそうです。  
その中でも日本の施設は大きいそうです。  
そこへは、サイタさんという方が朝から案内をしてくれました。  
サイタさんは、「子供の家」創業者小山さんと出会い、  
「ここに来なくては！」と感じ、3年かけて公務員をやめ、この、フエの、「子供の家」を支える会に来られたそうです。  
なんか、そこにも、大きなひとつの人生があって、もう少しお話を伺いたかったのですが。。。  
もう、なにより、勢いはすさまじかったです。  
子供の家に着くなり、市場に直行。  
[市場の人たちは今まではと違](#)い、とてもフレンドリーで、カメラを向けると照れくさそうにしながらも  
笑顔で嬉しそうに撮らせてくれた。  
人の良さが凄く伝わってくる市場だった。  
日差しは凄く、人は多く、だけど撮影が楽しいもんだからひたすら撮ったり、見たりしていた。  
子供の家に戻り、サイタさんに子供を家の紹介をしてもらおう。  
子供たちはみんな、かけまわったり、訪問者に見知りやそんなにせず、笑いかけてたりしてくれる。  
今、この短時間に、この様子を書きたくは無いです。  
サイタさんのお話や、書きたいことはたくさんあるけれど、限られた時間の今、無責任に私が書くことは出来ないと思  
う。  
写真も撮った。もっとアップして、文章も書ける時を作りたいと思う。  
子供の家でみんなと一緒にご飯を食べ、[サイタさんとお別れを告げ](#)  
部屋に戻る。  
・・・どっと、疲れが。。。  
熱射病だか日射病だか、精神疲れか。。。。弱いぞ自分！  
ってなわけで少し、就寝。  
夜、今度は日本語学校を訪ねた。  
日本語学校の石岡先生はボランティアでここに通ってらっしゃい。  
日本語学校で教えてくれる日本語は・・・  
非常に難しい・・・  
常日頃使っている言葉や書き方を改めて意味がわからないと思う。  
どうしてそこで変換なのか！！！！  
日本人に問いたくもなるだろう・・・  
問われたら私はきっと泣いてしまうだろう。  
特に数字沙汰。  
[みんなの勉強熱心度には驚く。](#)  
ノートを覗かせてもらえばびびり！と日本語。  
私たちの英語とは違い、実践も出来ていた。  
2時間の授業。私はずっとお邪魔していた。  
酷くお邪魔をしたかと思う。  
そこで、一人の女の子と仲良くなった。  
その子は  
荒金氏の名刺を持っていた・・・

荒金さん！！手早いぞ！(笑)  
その子の名前はとーはさん。  
その子にお誘いをうけ、翌日はその子と遊ぶことになったのです。  
まずは、ここまで。  
続くです。

改めて、  
簡単になっていますが、「子供の家」を支える会の税田さん、連絡を取り合ってくださいました。  
バオ・ミンさん  
、石岡先生、日本語学校の生徒の皆さんそして、子供の家の方々皆様、本当にありがとうございました。  
写真や、文章は後日改めてもう一度載せたいと思っています。  
つづく

カテゴリ：

post by 宮澤 美美 | 日時: 2006.04.12 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#)

ME YA THE WORLD > April 2006 アーカイブ

06.04.06

Hanoi

[Tweet](#)

[Check](#)





今日は思いがけないことだらけだった。  
まず、朝に、長坂先生にお別れを告げ。  
その後、五十嵐先生、よっこ、あずかさんと明日、出発するホームを確認しに  
ハノイ駅へ向かった。  
駅で確認後、早くもランチタイムなのでは！！

と

みんなで五十嵐先生おすすめのレストランへと向かったのです。  
路地の突き当たりにある、南仏を彷彿させる色調と造りのレストラン。  
トレーニングレストランということで、見習いさんがおもてなしするところとか。  
お味もなかなか。ベトナム料理が苦手な私もおいしく食べられました☆  
その後、取材の話になり、

ここでまた！！

五十嵐先生が私にハッパをかけるのです。  
あ、またと言っても、台北での日本料理屋の記事は消えてしまっているので、  
皆様に見れば初めてなのですけど・・・

「宮澤さん、今なんていいんじゃないの？」  
いつものパターン！！  
先生が「行けば？今、行っちゃえば？」  
攻撃！

確かに、行ける、いけるかもしれない、ただただけど・・・

「Excuse me-」

うおおおい！早くも先生が行ったー！！！！

ほらほら、聞き耳たててみんなやってきたよ・・・

「She is a student.....and...」  
・・・話を進めてる・・・

しかもOKが出たー！！

じゃあ、もう行くしかないっすー！！

何を交渉しているかと申しますと、ワタクシ、写真を撮る以外にももうひとつ企画がございました。

ここで初めて打ち明けるのですが、

私の「取材」というのは

「撮影」

と

「アンケート」

の二つがあるのです。

主に、撮影では日本に関するものだったら何でも。という感じ。

そして、アンケートでは、日本に対する思い、というか、感じ方、考えを答えてもらい、答えてくれた人のポートレートを撮る。

というもの。

撮影はまだしも、アンケート取材が全く進んでいなかったのです。しかし、私の目標は一カ国100人！！！！

そう、とにかくこなさなければいけなかったのです。

そこで、五十嵐先生は私にいつも一押し、ふた押し、してくれるのですが、

シャイガールMIYATHEわ！できなかつたー！Σ(>▽<)>

だが、ここでひとつ、マ尹でやらなくては！と意気込んだ。

嬉しいことにみんな興味津々で、質問にも一生懸命答えてくれて写真も早く撮らせてくれました。

ただ、やはり、人物撮影は難しいのう。焦ってしまって背景、露出諸々、見落としてしまいがち。

日本料理屋に続き、また、みんなを待たせてしまったのですが、

最後には、答えてくれた人たちがみんな嬉しそうな顔。というか、私も一緒に写真に入ったりしてはしゃいでいました。

成果は3人！！・・・

・・・・・・

・・・

進んだ！それは確かだ！・・・うん、

その後、一度ホテルに帰り、今度は藤野良子の出番です。

よっこが撮りたい道があったということで、先生、私、よっこでシックハックしながらタクシーを呼んで

空港までの道を走ってきました。ユーターンして、帰り道。

よっこが「ここだ！！」

と叫んだ場所に運転手さんに行ってもらい到着。

ハノイとは全く違った雰囲気のある都会でもなく、藍く田舎でもないちょうどいい場所に到着。

横には、やってるんだか、やってないんだかわからない遊園地。

よっこは一目散に道を撮りに。

私はというと、夕暮れの街でぼんやりとファインダーをのぞく。

長いことよっこが帰ってきて、帰るうか。となった時。

おじちゃんが子供をかかえてやってきた。

このおじちゃん、さっきのおうちの中で私を手招きしてたおじちゃんだ。

だけど私は、都会・ハノイの物売りを断る癖が出て、確か無視をした。

だけど、物売りではなさそうだ。

嬉しそうに子供を抱えている。

カメラを指して何かを言ってる。

よっこが

「撮って欲しいんじゃない？」という。

あ～あ。な～る。

ばしやばしや。と二人を撮って見せるとおじちゃんは絶頂に喜んで！

子供の頭をわしゃわしゃしながら「良かったなあ！」と言ってるみたい。

嬉しくなった私も調子に乗って子供のアップやら撮りだして子供に見せた。

その子もそれを見たらキャッキヤツと笑ってる。

おうちの中の人がきつとお母さんだろう。

見せにいった。

そしたら一家全員で喜んでくれた。

私もとり続けて、見せ続ける。撮る度に喜んでくれる。

未だかつて、こんなに写真を撮って喜ばれたことはなかった。

私もとても幸せだった。彼らも幸せそうだった。

一度も言葉をわかりあっていない。

最後に「Merci」と言われたけれど、私はフランス語で返せない。

何も言えなかったけど、笑顔だけは伝わったと勝手に思っている。

それぐらい楽しいひと時だったから。

最後に名詞を渡して、

私達はタクシーにのりこんでホテルへ戻った。





post by 宮澤 英美 | 日時: 2006.04.06 | [バーマリンク](#) | [コメント \(5\)](#)

カテゴリ:

ME YA THE WORLD > April 2006 アーカイブ

06.04.05

## はのいのいのいのいずです

[Tweet](#)

[Check](#)

ハノイにおります。  
クラクションが鳴り響き、バイクが波のように押し寄せる街でございます。  
到着日は、着いてすぐに睡眠欲負け。カーン。  
今日は、街をあずかさんと散策。  
大きな市場を巡って駅まで行って帰ってきました☺





カテゴリ：  
post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.04.05 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#)

ME YA THE WORLD > April 2006 アーカイブ

06.04.03

## Something in my mind

[Tweet](#)

[Check](#)



長旅は自分がそこに居るから目の前のことが新鮮だ。  
だけど、だんだんとそれが当たり前になる。  
それは「ハレとケ」を思い出させる。林隆喜先生の暗室の授業で出た課題。  
「ハレとケ」について思うことをレポートに書き、写真で表す。というもの。  
私はそのレポートで「ケ」は日常。「ハレ」は祭りごと、つまり、非日常として話を進めた。  
ハレもそれが続くようならば、それはもはや、非日常ではなく、日々のごと、  
「ケ」になってしまうのだろう。と。  
今、現在の状態はもしかしたら、それにあてはまるのではないかと、日本から持ってきた音楽を  
聴きながら電車の中で思った。  
違う国、知らない場所に突き進む。  
確かにすべてが初めてのことだ。しかし、初めての体験が初めてではなくなる・  
めずらしくなくなること。ということ。  
それを「旅慣れ」というのだろう。  
「ハレ」が「ケ」になりつつあるようだ・・・・・  
それは良いのか悪いのかわからないけれど・・・  
鈴木先生は「非日常が日常になったとき、今までは違う新しいものが振れる。」  
と教えてくださった（と思う・・・）  
感情に振り回されずに冷静に周りを見極めて撮影ができるから。  
しかし、それを上手く出来ないようならば、「慣れ」というのは非常に怖い。  
日本で聞いていた音楽を耳にして気づいた。日本に居た頃を思い出す。  
それどころか、一年アメリカに留学して帰国したころのことも思い出す。  
今の事態は今、感じている空間よりも貴重であって、なんとなく過ぎる時間があるとしてもそれは、  
私の気持ち次第。

その土地に馴染むことももちろん大事だけど、自分が自国から持ってきたもの、意思や感情、経験などをしっかり持っていかなくてはならないと思う。  
それは、何れ国も国をまたぐ旅をする中で、そして、日本に作品を持って帰るうえで必要なのではないかと思う。

私の場合、それを思い出させてくれたのは音楽だった。  
よかったよかった。めでたしめでたし◎

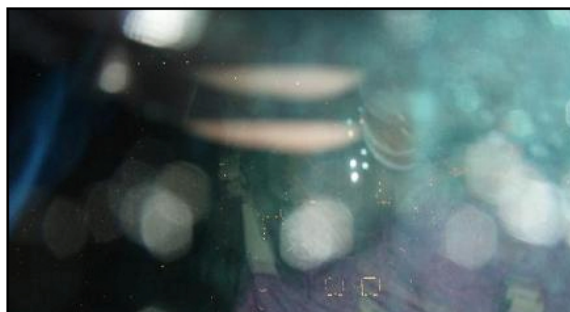
カテゴリ：  
post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.04.03 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#)

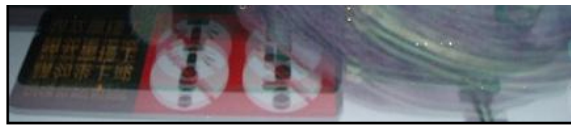
ME YA THE WORLD > April 2006 アーカイブ

## 台湾最終日☆ミ

[Tweet](#)

[Check](#)





とうとう、一カ国めが終わろうとしています。  
台北ももう、庭ですね。うんうん。  
今日は中山地区に行きました。  
その前に、日本家屋が駅近くにあるのでそこも訪れたのですが  
オリンパスで撮るのを忘れました。。。  
そして、中山地下街を通り中山地区へ！  
なぜ、その場所かと言うと、、、、  
色々あるからなんですけど。。。  
当初の目的地には何ひとつたどり着けず。  
庭が広いもんで困ります。  
朝食を逃したのでふらっとお弁当屋に入ったのですが。  
味と量のバランスが非常に悪かったです。  
中山地区は歩くだけで、取材ができます。日本家屋に見える家が並んでいたり、建物があったり、  
歴史を感じる町でした。まさか、根津かと思うぐらいに屋根は瓦で玄関は引戸だったり。  
あー。これも同じくオリンパスで撮らなかつた。。。  
ホテルに帰り、カナ・ナナの部屋で休んだあと、  
カナの方と電気街に行きました。  
カナちゃんがプリンターがほしいということで。  
しかし、お手ごろプリンターは見つかるはずはなく、  
百だけ膨らみました。  
よくあるよくある。  
未だに苦しいんですもの。  
そして、  
さっきまで、あすかさんとTAIPEI 101に！！  
世界最高のビルだそうで！！展望台に行ったのでした。  
高さの実感は非常に薄かったのですが、行けて良かったな！と思いました。  
その後、あすかさんと迷いながら帰ったのでした。  
私の日記は「食べる」か「迷う」しか書くことがなさそうだ。。。  
最近なんだか長文がかけないぞ。。。  
トラウマです。。。  
台湾は本に、不思議な国でした。  
中国的でもあり、そして日本のにおいもして、だけど、西洋でもあるのか。。。信仰も深く、人は親切で、だけど、何か不思議に感じる部分もあり、  
馴染みやすいようで、まだ、わかりきれない国でした。  
明日はベトナム入国です。とうとう、大食小姑が苦手とする区間です。  
ベトナム料理は如何なものか。。。  
いや、でも、しかし、無事、一カ国が終了してよかったよかった。  
そして、今、隣であすかさんがおとこの私と同じめに。。。！！！！  
書いた文が消える時のやりばのない思い。。。  
わななきわななき。  
では、また！

カテゴリ：

post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.04.03 | [パーマリンク](#) | [コメント \(7\)](#)

ME YA THE WORLD > April 2006 アーカイブ

06.04.01

台北3日目



[Tweet](#)

[Check](#)

昨日は、たっくさんいろんなことをしたのですが、  
新竹に行ったり、桃園に行ったり、日本料理屋取材したり、  
台湾の核になる作業をしたのですが、  
そのことについて熱く語ったのですが、一思いに記事が白紙になりました・・・。  
いや、いつか必ず書きます。  
今日は、これからベトナム・タイ・カンボジアで訪ねる日本語学校の方たちにメールをしていた  
ため  
時間が無いので写真アップ出来ず！  
残念！  
てなわけで。  
もう少しで台湾が終わるわけで。  
多分私は、自由行動で帰ってくるでしょう。  
今のところ、その予定です。  
日本日本。日本にあふれた町ですから・・・

カテゴリ：

post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.04.01 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#)

ME YA THE WORLD > April 2006 アーカイブ

## 台北2日目の熱い思いは消えました・・・

[Tweet](#)

[Check](#)

文章が全部消えたので  
写真だけ  
いや、やめよう。  
また、今度打ち直します・・・  
じゃあ、、、一枚だけでも写真を・・・  
[画像の確認](#)

カテゴリ：

post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.04.01 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#)